

「建設トップランナー倶楽部幹事会」の発足に当たって

平成 22 年 10 月 1 日

建設トップランナー倶楽部
幹事一同

公共事業の大幅な削減に伴い、地域に生きる建設企業がかつてない厳しい経営環境に直面するなか、平成 18 年 12 月、産学官の有志が「建設トップランナーフォーラム (TRF)」を設立しました。以後、TRF では 4 度の全国大会や地方ワークショップ、分科会などを開催し、心熱き建設経営者の新しい発見と出会い、そして多様なつながりを構築する場を提供してきました。

このフォーラムで紹介してきた地域建設業の新分野進出事例は、実際に動いている現場と深く結びついたもので、ここから、様々な地域振興に関わる具体的な課題や政策提言を行ってきました。

ただ、TRF はボランティア組織ゆえに幹事一同に多大な負担がかかり、資金面も含め代表幹事に過剰な負担がかかっていました。全国大会の運営に当たっても全国青年会議所建設部会や建築技術支援協会のスタッフに大きく依存するという諸問題を抱えていることから、当初より 3 年間の期限付きで活動を続けてまいりました。

そして TRF は平成 21 年 12 月をもって解散し、その後は「建設トップランナー倶楽部 (TRF)」へと形を変え、メルマガの配信やジョイント企画、各種の情報提供などに取り組み、全国大会の開催については公的機関へ引き継ぐ考えで進んでまいりました。

ところが、昨年の政権交代以後、地域建設業を取り巻く外部環境が急激に変化し、TRF が目指していた全国大会の公的機関開催も事業仕分け等の影響で実施困難な状況となりました。

こうした事態を憂慮した TRC 幹事一同は「建設トップランナー倶楽部」の体制をもう一度立て直すため、平成 23 年から新たな会費制 (年額 10 万円) の幹事会を設立することを決断しました。これまでの産学官有志によるボランティア組織から次のステージへ移行し、「幹事会」は志の高い建設経営者の自己研鑽の場として位置付けたいと考えております。

「建設トップランナー倶楽部」の活動は①誰もが参加できる全国大会、倶楽部メールの配信などの「オープン形式」②幹事のみが参加できる「クローズ形式」の幹事会—の 2 本立てとします。

度重なる公共投資の削減によって厳しい経営が続くとは存じますが、目の前の難局を乗り切る羅針盤として、新生「建設トップランナー倶楽部幹事会」にご参加いただき、入会へのご賛同賜れば幸甚です。よろしくお願い申し上げます。

以上